

交通安全は、一時の確認から

久 が 原 地 区 管 内	人口	男	12,309人
		女	12,545人
		計	24,854人
	世帯		10,852世帯

平成13年3月1日現在

くがはら

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会
編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原2-19-3
(3752) 4271
題字 三木 兼吉

久が原郷愛会は久が原地域における、かつての戦没者の慰靈と遺家族、戦傷病者の援護、及び会員相互の親睦等を図るために、戦後「郷友会」の名称で、自治会や地域各種団体の協賛をいただいて、慰霊祭や親睦等の行事をしてまいりました。

▼自治会及び地域の公共的行事に協賛参加する

▼安全で安心できる街づくり、民生・更生保護等の行事に協賛参加する

▼各種ボランティア行事に参加する

▼季節毎に日帰り見学研修の旅行を行い、会員の親睦を深める

今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

連絡先 総務担当 葉山次郎
電話 (3751) 4800
(郷愛会副部長 川又 浩)

からいただいた桜の巨木がシンボル的存在としてそびえています。校庭にある桜は、春に満開の花、夏には日陰と子ども達に親しまれ、第二校庭の櫻は、静かに子ども達の活動を見守ってくれています。

この本校の自然の特徴を生かして、昨年から教育目標に組み込んできているのです。このことだけでなく、古代遺跡の町としても全国的に有名なこの地域の学校として、伝統を大切に教育を進めていきたいと思います。

予定です。
その間、皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

からの反応が多く、感謝です。

○種田なおみ（PTA・西）
各小・中学校の行事について担当しております。

○佐々木琢磨（編集・南）
割付を担当しております。

○高橋房子（わがまち・南）
「くがはら」の、美しい話、楽しい話を、お届けします。

○三部金光（自治会・道）
毎回楽しく編集委員会に出席
楽しませて頂いております。

○白根睦正（事務局・区役所）
編集会議の熱気をそのまま
お伝えできればと思います。

舞台の上を右へ左へと体を使つてのお話や、独特の話術に、子ども達も保護者もすつかり先生の魅力に引き込まれてしましました。

歴史を誇る 久が原の…

待つていいよ！」
この様な先生のお話は、これから大人の社会に巣立つ不安だらけの子ども達に大きな勇気を与えて下さったと甘く、優しい愛情で背中をそつと押して頂いたように感じました。

今春、「久が原シニアクラブ」が誕生し、久が原地区の老人クラブが四団体になりました。(表参照)

十二年度大森十中卒業記念講演

数学者秋山仁先生をお迎えして

老人クラブの四回目 参加会員募集中

交流の輪を広げましょう

各クラブともそれぞれに活動には趣向を凝らしていくが、生きがいを高める面では、踊り、手芸、囲碁、カラオケなどを定期的に開催する。

「誕生会」の開催、月一回の会報を発行しています。各老人クラブとも新年度からの会員を募集中です。お問合せください。

編集委員紹介

地区	会名	会長	連絡先
東	東寿会	志田 清	3752-1309 (斎藤)
西	喜楽会	篠澤くに	3751-7760
南	シニアクラブ	太田 政	3753-5138 (久が原クラブ)
道々橋	寿会	醍醐茂男	3751-7635

EVENT 情報

子どもガーデンパーティー
【月 日】4月22日(日) 10:00
【会 場】洗足池公園
(雨のときは大森六中)
【問合先】久が原特別出張所
【電 話】(3752)4271
☆年に1度のお楽しみ、待ちに待った洗足ガーデン。

夏休み子どもキャンプ

【月 日】8月26日(日)・27日(月)
【場 所】茨城県立白浜少年自然の家
【問合先】久が原特別出張所
【電 話】(3752)4271
☆ここ白浜は北浦の辺です。

今年も、ハイキングやお祭りなどの楽しい行事を企画しています。
ぜひご参加ください。



**三月十日、子どもレク大会
中学生と遊ぼうを
企画して**

これまでの青少対行事には地域の中学生の参加が少ないという問題点がありました。

今回は、やや駆け足でしたが時間がかけて各所をゆつくり見るのも良いかも知れません。五〇人程でしたが、歩く速度がまちまちのため、係の方々が整理するのにひと苦労されておりました。毎度ながら青少対の皆様の労に対しても心からお礼申し上げます。また是非参加できますように。

(歩こう会 小原直美)

俳句

菜種河豚かたへに乾く船溜まり
金婚の夫と歩見る花堤
一合の米研ぐ窓辺笛子鳴く
慰めの文短くて暖かし
(長島和子)

(三木清子)

(鈴木定子)

(村野陽子)

**ホームページを見てね
松仙小学校
久が原南自治会**

パソコンを使って、インターネットのネットのホームページを開設している松仙小学校と久が原南自治会を紹介します。

松仙小学校は、インターネットを活用した実践教育をすすめており、こどもの発達段階にあわせ、インターネットに「なれる」「使う」「役立てます」という学習活動をしていきます。松仙小学校のホームページでは、その時々の学校行事で活躍するこども達の姿を見ることがあります。学校では、メールを通して全国のこども

ところが当日、生徒会をはじめ八つの部活の参加を得て、一三〇人の中学生が開会式に集まってくれて大変感激しました。

吹奏楽の演奏で始まり、また、低学年の子ども達の参加者が多く、サッカー・キックベース・バレーボール・バス

池雪小・松仙幼稚園に募集をかけると、二百名以上の応募があり、かえつて中学生の参加者数が心配になりました。

一方、久原小・松仙小・

そこで青少年部として大森十中の施設をお借りし、中学生に小学生と遊んでもらう企画を立てました。

一方で青少対が忙しい時期のため、なかなか内容の詰めができませんでしたが、そこで、校長先生とともに進めることができました。

一方、久原小・松仙小・

そこで青少対が忙しい時期のため、なかなか内容の詰めができませんでしたが、そこで、校長先生とともに進めることができました。

東京都明るい選挙永年功労者
本間歌子 醍醐茂男
大田区区政功劳者
田中國松 安達聰路
青山トモ子 三木清治

受賞おめでとうございます
(敬称略)
(青少対 種田なおみ)



**空巣を防ぐ
ひつたくり・
被害にあわない心がけを**

**委員会からの
お知らせ**

胸にしつかり抱えて歩くこと。
③暗いところや人通りの少ない道は避けて歩くようになります。

次に空巣対策には、防犯性能の高い錠前をつけたり、ツイロックにしたり、防犯センサーを取り付けたり、窓を合せガラス等破壊に強いものにすることが有効とのことです。なお、自転車泥棒にあわない為には、こまめに鍵をかけたのも大切です。

(二郎金光)

青少対からはストラップアウト・大縄跳び・風船遊びなどを用意し、久が原ジユニアリーダークラブにも手伝つてもらいました。

好天にも恵まれ、精一杯楽しんでいる姿は、中学生にも何か感じるものがあつたでしょう。引率して下さった道すがら宇野千代、石坂洋次郎などの記念碑を見ながら、

最後に日本画の巨匠川端龍子記念館を訪れました。ここも大勢の見物客がいて、アトリエを見るのに待たされた程でした。

今日は、やや駆け足でした。が、時間を見つけて各所をゆつくり見るのも良いかも知れません。五〇人程でしたが、歩く速度がまちまちのため、係の方々が整理するのにひと苦労されておりました。毎度ながら青少対の皆様の労に対しても心からお礼申し上げます。また是非参加できますように。

(歩こう会 小原直美)

岡村 昇 醍醐俊雄
消防関係表彰
野村充永 石黒 隆
三木一輝 片岡保博
亀井博美 石井久夫
加藤芳夫 渡部富二夫
島崎正行 佐々木琢磨
大山ゆき子 直井亮太 吉田良平
江川健太郎

大田区青少年健全育成表彰
大田区青少年健全育成表彰
直井亮太 吉田良平
亀井博美 渡部富二夫
加藤芳夫 佐々木琢磨
島崎正行 片岡保博
大山ゆき子 直井亮太 吉田良平
江川健太郎

久が原南自治会は、久が原の様々な行事を、主に写真特集という形で紹介しています。今後は、地域との交流をもっと密接にしていきたいと考えています。

松仙小のホームページにアクセスし、人間関係の輪が広がります。翻訳は、ボランティアの方が手伝ってくれています。卒業生など多くの人たちが

松仙小のホームページにアクセスし、人間関係の輪が広がります。翻訳は、ボランティアの方が手伝ってくれています。卒業生など多くの人たちが

松仙小のホームページにアクセスし、人間関係の輪が広がります。翻訳は、ボランティアの方が手伝ってくれています。卒業生など多くの人たちが

松仙小のホームページにアクセスし、人間関係の輪が広がります。翻訳は、ボランティアの方が手伝ってくれています。卒業生など多くの人たちが

松仙小のホームページにアクセスし、人間関係の輪が広がります。翻訳は、ボランティアの方が手伝ってくれています。卒業生など多くの人たちが

松仙小のホームページにアクセスし、人間関係の輪が広がります。翻訳は、ボランティアの方が手伝ってくれています。卒業生など多くの人たちが

松仙小のホームページにアクセスし、人間関係の輪が広がります。翻訳は、ボランティアの方が手伝ってくれています。卒業生など多くの人たちが

編集後記

人 事 異 動

○今号は、年度のまとめと始まりにあたり、卒業、入学など学校の催しを取り上げ、

○春の催しや、皆様から寄せられた記事で、多彩な

○今号は、年度のまとめと始まりにあたり、卒業、入学など学校の催しを取り上げ、

○春の催しや、皆様から寄せられた記事で、多彩な